



「日本文化を発信しよう」 教科書P153

■ 作ったパンフレットを次の視点をもとにふりかえりましょう。

知る	読む	書く	つなぐ
<p>どのような表現の工夫を見つけ、パンフレット作りにいかしましたか。</p>	<p>絵と文章を照らし合わせながら読んだとき、どのようなことに気づきましたか。</p>	<p>友達のパンフレットの構成や表現で、工夫されていると思ったところはどこですか。</p>	<p>絵や写真などを用いた文章を読んだり書いたりするときにかしいのは、何ですか。</p>



**伝えたいことに合わせた構成を考える。**

- 伝えたいことを明確にし、それが効果的に伝わる文章構成を考える。
- 絵や写真などと文章との組み合わせを工夫して、読み手を引き付ける。





■教科書P 158を見ながら、それぞれの古典芸能について、次の表にまとめましょう。

時代	内容や特ちょう
狂言	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観客を笑わせる（ ）。</li> <li>・二、三人の登場人物で上演。</li> <li>・（ ） 舞台の上で演じる。</li> <li>・役者自身が（ ）や（ ）の音などを声に出して表現する。</li> </ul>
能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（ ） を用いる。</li> <li>・顔の向きを変えることで（ ） を変化させる。</li> <li>・能の間に狂言が演じられることが多い。</li> </ul>
歌舞伎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（ ） や（ ） 、登場人物のせりふやしぐさといった要素を合わせた演劇。</li> <li>・（ ） ……表情や役がらを印象付ける化粧。</li> <li>・（ ） ……体の動きを止めて目を大きく開いてにらむ動き。</li> </ul>
人形浄瑠璃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（ ） ……せりふや場面の様子などを語る。</li> <li>・（ ） ……伴奏。</li> <li>・（ ） ……人形を操る。</li> <li>・一つの人形を（ ） （ ） （ ） の三人で動かす。</li> </ul>

■ 次の古典芸能についても、その内容や特ちょうなどを、本や図かんで調べてみましょう。

落語 (らくご)	
雅楽 (ががく)	



■教科書P 158を見ながら、それぞれの古典芸能について、次の表にまとめましょう。

人形浄瑠璃	歌舞伎	能	狂言	時代	内容や特ちょう
江戸時代	江戸時代	室町時代	室町時代		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・(太夫《たゆう》)：せりふや場面の様子などを語る。</li> <li>・(三味線《しゃみせん》)：伴奏。</li> <li>・(人形づかい)：人形を操る。</li> <li>・一つの人形を(主づかい)(左づかい)(足づかい)の三人で動かす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(音楽)や(おどり)、登場人物のせりふやしぐさといった要素を合わせた演劇。</li> <li>・(隈取《くまどり》)：表情や役がらを印象付ける化粧。</li> <li>・(見得《みえ》を切る)：体の動きを止めて目を大きく開いてにらむ動き。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(悲劇)</li> <li>・(能面)を用いる。</li> <li>・顔の向きを変えることで(表情)を変化させる。</li> <li>・能の間に狂言が演じられることが多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観客を笑わせる(喜劇)。</li> <li>・二、三人の登場人物で上演。</li> <li>・(何も無い)舞台の上で演じる。</li> <li>・役者自身が(鳴き声)や(鐘)の音などを声に出して表現する。</li> </ul>		

■次の古典芸能についても、その内容や特ちょうなどを、本や図かんで調べてみましょう。

落語	雅楽
(らくご)	(ががく)
<p>噺(はなし)と呼ばれる演目を一人で演じてお客さんに聞かせる話芸。江戸時代の人々のくらしを題材にした笑い話で「オチ」とよばれる気のきいた結末がつく。</p>	<p>中国や朝鮮半島から日本へ伝わった音楽や舞と、それまで日本にあった音楽や舞と合わさって独自の発展をする。奈良時代に定着し、宮廷や寺、神社で演奏されるようになる。</p>